

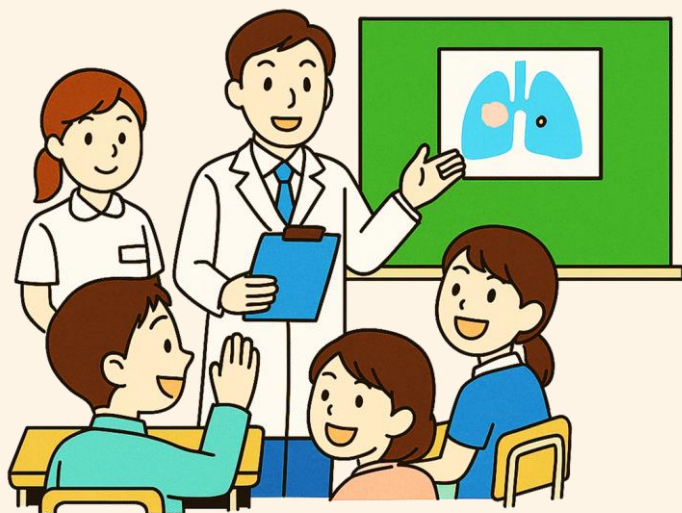
# 医療現場から 学校へ！ 健康の特別授業

保健体育・養護教諭の先生方へ



がんは日本人の死因第1位。児童生徒に対して、がんに関する正しい知識と、がん患者やその家族への理解を深めることが重要です。そのため、文部科学省では、医療従事者を外部講師として活用することを推奨しています。

そこで、本年度から、県内のがん治療の中心を担っている「がん診療連携拠点病院」から医師や看護師等を外部講師として学校に派遣する事業を開始しました。



謝金  
不要

学校の費用負担  
はありません

医師や看護師といった医療技術者等から直接、がんについて学べる貴重な機会ですので、本事業の活用をぜひ御検討ください。

なお、がんに限らず、生活習慣病の予防など幅広くお話できます。

内容や時間等は御希望に応じて調整可能ですので、御相談ください。（申込から授業までの流れは別紙参照）

## 生徒からの声（授業後の感想）

- がんになっても、差別したりしない。今までどおりに接することがとても大切だと思った。
- 今までがんに悪いイメージがあったけれど、がんになっても生活が続けることができるんだと思った。
- 自分はがんにより家族を失ったことがあるので、がんに恐怖を覚えていたけど、がん対策が分かったので気持ちが楽になった。



令和7年度から派遣事業を開始しました！

# 医療現場から学校へ！「がん教育 外部講師派遣事業」活用ガイド

## 事業の目的

宮城県が実施する、がん診療連携拠点病院から医師や看護師を学校へ派遣する事業。児童生徒ががんに関する正しい知識を持ち、患者や家族への理解を深めることを目的としており、学校側の謝金負担なしで専門的な授業を実施できます。

## 選べる2つの授業形式（活用イメージ）

### 【ケース1】学年・全校単位の講演形式



学年行事などの特別行事として、体育館等で大人数を対象に実施します。

### 【ケース2】各学級単位の保健体育授業



1学級毎に全てのクラスへ個別に講師を派遣し、教室でじっくり学びます。

## 複数回派遣も柔軟に対応

1学年5学級ある場合、5回に分けて各クラスで授業を行うことも可能です。



## 申し込みから実施までの3ステップ

### ① 申し込みと講師調整



県へ申込書をメール送付し、県が拠点病院と日程・講師の調整を行います。

### ② 内容の打ち合わせ



決定した講師と学校間で、授業内容や資料について直接詳細を調整します。

### ③ 授業の実施と報告



当日は講師が来校して授業を行い、終了後に実施報告書を提出して完了です。

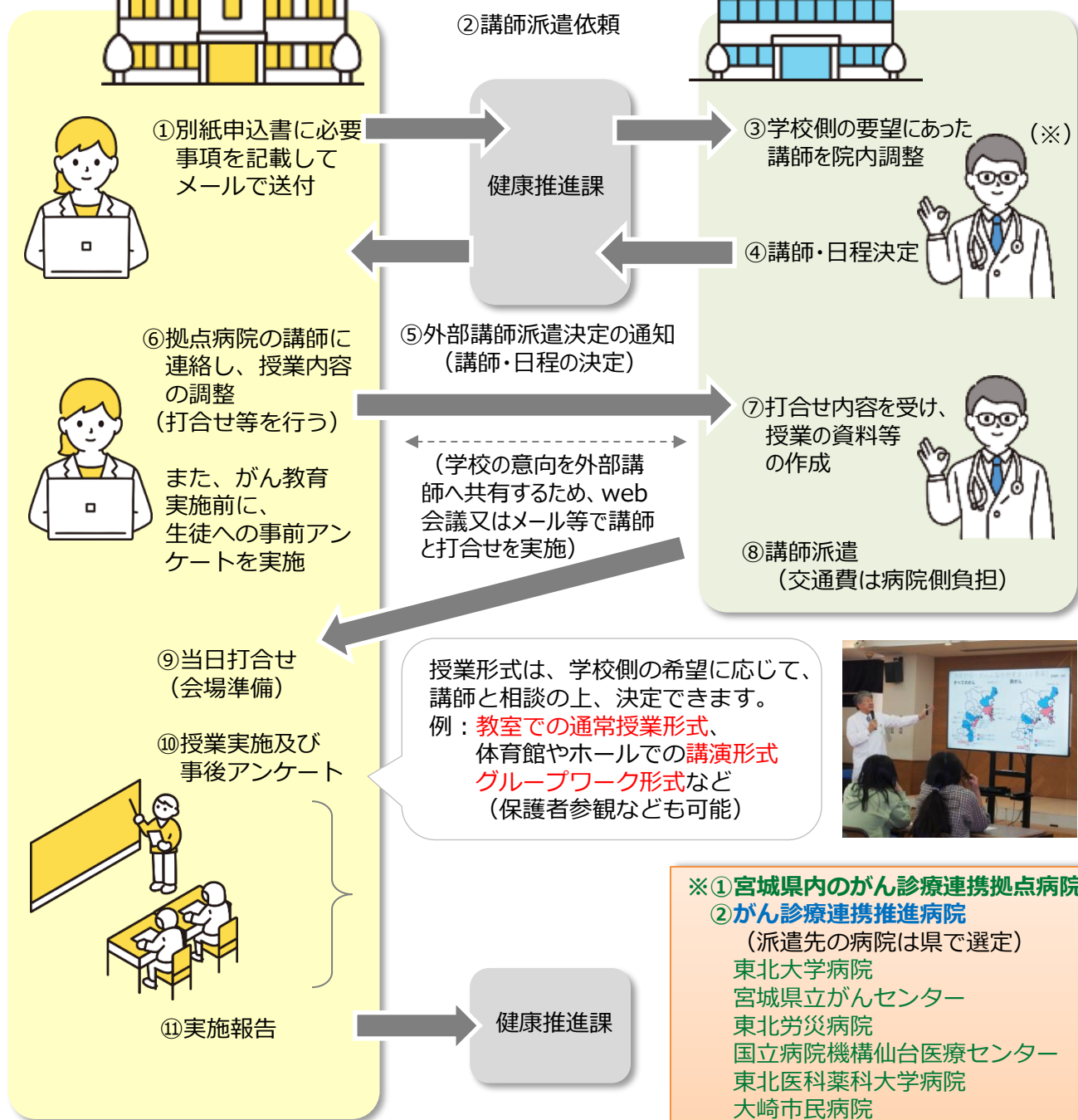


# がん教育外部講師の派遣依頼から当日までの流れ

学校

県

拠点病院



## ※①宮城県内のがん診療連携拠点病院 ②がん診療連携推進病院

(派遣先の病院は県で選定)

東北大学病院  
宮城県立がんセンター  
東北労災病院  
国立病院機構仙台医療センター  
東北医科薬科大学病院  
大崎市民病院  
石巻赤十字病院  
みやぎ県南中核病院  
気仙沼市立病院  
坂総合病院  
仙台オープン病院  
仙台厚生病院  
仙台市立病院  
東北公済病院

## 外部講師派遣に関するお問い合わせ先

担当：宮城県保健福祉部健康推進課 がん・循環器病対策班

電話 022-211-2638

E-mail : kensui-g@pref.miyagi.lg.jp (班代表)